

岐阜のヤマトサンショウウオと ニホンイシガメの 保全にむけた取り組み

岐阜大学応用生物科学部 動物繁殖学研究室
岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部生物班
世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ
岐阜市自然共生部自然環境課

環境の悪化や外来生物の増殖により、
身近にいたはずの淡水生物は、
全国的に減少しています。

岐阜県には多くの自然環境が残され、多くの野生生物が
生息しているが、環境の悪化や外来種の増加は他地
域と同様に深刻になりつつあり、絶滅の危機に瀕して
いる生物も少なくない。岐阜大学、岐阜高校、世界淡
水魚園水族館、岐阜市自然環境課が協働して行ってい
る岐阜のヤマトサンショウウオとニホンイシガメの保
全の取り組みを紹介します。

淡水生物園

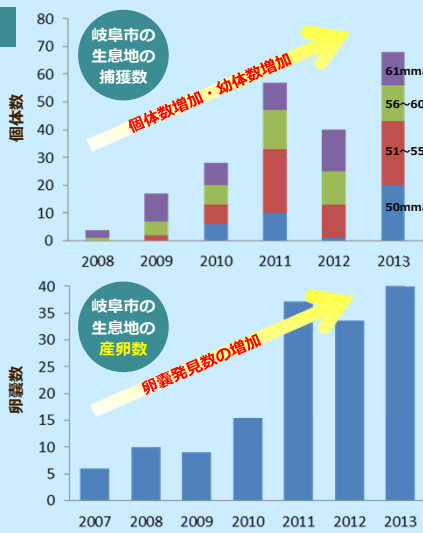
検索

岐阜県ヤマトサンショウウオの現状

- 岐阜県の生息地は岐阜市内と揖斐川町内の2ヶ所のみ
- 岐阜市内の生息地・・・住宅地に隣接、産卵場は生活排水や殺虫剤等が流入したことのある駐車場沿いのU字溝、2008年の調査時には大型の老齢個体のみの発見
- 揖斐川町内の生息地・・・産卵場は水涸れが起こることがある、アカハライモリによる卵嚥の食害を確認

生息域内外での保全活動

- 岐阜高校・世界淡水魚園水族館・岐阜市役所の積極的な保全の取り組みにより、現地の生息数が回復してきた。



- ・ 2003年～ 岐阜市が繁殖確認調査を実施
- ・ 2007年～ 岐阜高校が加わり生息調査、卵嚥の保護および孵化、孵化幼生の育成・生息地への放流、生息地の環境対策など
- ・ 2007年～ 世界淡水魚園水族館が飼育開始、飼育下繁殖の成功、生息地への放流、展示・普及啓発活動など
- ・ 2010年～ 危険分散を考慮し、岐阜県内3ヶ所に域外保全地を整備（2010年：水族館敷地内、2011年：淡水生物園、岐阜市市有地）

ヤマトサンショウウオ



レッドリスト

環境省版（2012）
絶滅危惧Ⅱ類
岐阜県版（2009）
絶滅危惧Ⅰ類
岐阜市版（2015）
絶滅危惧Ⅰ類

- 西日本地域に広く分布する小型サンショウウオ
- 岐阜県は本種の分布東北限で、生物地理学的に貴重
- 岐阜市の個体群は「岐阜市自然環境の保全に関する条例」で「貴重野生動物種」に指定され、捕獲や採取等は禁止

ニホンイシガメ



レッドリスト

環境省版（2012）
準絶滅危惧
岐阜県版（2009）
準絶滅危惧
岐阜市版（2015）
絶滅危惧Ⅰ類

- 本州・四国・九州などに広く分布
- 近年になり外来生物のアライグマによる捕食被害、クサガメ（外来種）との交雑による遺伝子汚染が明らかにされ、絶滅のおそれが高まっている
- 近年初めてレッドリストに絶滅危惧種として掲載

カメの生息実態調査 - 危機にあるニホンイシガメ



捕獲割合

ニホンイシガメ 1.9% (24匹)
スッポン 2.7% (34匹)
クサガメ 27.5% (350匹)
ミシシippアカミミガメ 67.9% (864匹)

- 岐阜大学と岐阜高校がワナによる淡水生カメ類の捕獲調査を実施（岐阜市自然環境基礎調査と連携）

- ニホンイシガメ・・・日本固有種
- スッポン・・・在来個体と養殖個体が混在・交雑している可能性が指摘されている
- クサガメ・・・外来種である可能性が近年指摘されている。朝鮮半島、中国東部、台湾にも自然分布。
- ミシシippアカミミガメ（商品名：ミドリガメ）・・・北米原産、環境省指定要注意外来生物

調査期間：2010年8月27日～2013年11月末（約3年間）
調査地：岐阜大学構内河川・池、接続する村山川と新堀川
総捕獲数：1146匹（再捕獲数は含まず）

（注）スッポンは捕獲ワナの形状から捕まりにくく、実際の生息数を反映していない（過小評価している）と考えられる。

- ミシシippアカミミガメが大半を占め、固有種のニホンイシガメがわずか。
- 岐阜大学構内でのミシシippアカミミガメの繁殖を確認
 - ・ 2004年、2009年：産卵中のアカミミガメを発見（回収した卵は、のちにすべて孵化）
 - ・ 2011～2013年：孵化直後の幼体が発見
 - ・ 毎年：当歳または数年以内と思われる幼体を多数捕獲
- クサガメも生後数年以内と思われる幼体を多数捕獲、ニホンイシガメの幼体の捕獲はこれまでに一度もない。
- アカミミガメの増殖と生息域拡大を阻止するため駆除を進め、種構成の動向を追跡調査中。増殖理由を明らかにするため、駆除個体を活用して解剖学的・生理学的手法により調査中。

岐阜大学 淡水生物園 の活動



淡水生物園（2011年完成）

- 岐阜市の希少淡水生物を保全し、あわせて保全研究や環境教育を行う場として、岐阜大学構内に整備した 200 m²ほどの人工池
- カメ自然飼育エリア、カメ研究飼育エリア、ヤマトサンショウウオ自然飼育エリアからなる

〔活動内容〕

1. 岐阜大学地区および周辺域のカメの生息実態調査
2. ミシシippアカミミガメ等の外来カメの防除
3. カメ類の繁殖生理に関する研究
4. 岐阜市（大学周辺）のニホンイシガメの域外保全
5. 岐阜市のヤマトサンショウウオの域外保全
6. 情報発信・普及啓発

ニホンイシガメの自然飼育エリア



ヤマトサンショウウオ自然飼育エリア



カメ研究飼育エリア（区画池）

フリー冊子「ぎふの淡水生物をまもる」発行！

（初版2014年3月発行、増補改訂版2014年7月発行）

ヤマトサンショウウオやニホンイシガメの保全活動をはじめ、岐阜エリアの淡水生物やその保全・研究などの取り組みを紹介。



PDF版 公開中



ぎふの淡水生物をまもる

増補改訂版

岐阜市や近隣エリアにおける淡水生物の保全活動や研究の最前線を紹介。身近な在来種の保全や外来生物問題に関する普及啓発のための情報誌です。岐阜にすむ淡水生物たちを一挙紹介します。岐阜に限らず、地元地域の生きものたちに目を向けるきっかけになれば幸いです。

著者（五十音順） 安藤英之、池谷幸樹、伊藤健吾、井戸健登、岩澤 淳、梅村啓太郎、風間麻未、梶浦敬一、加納一郎、岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部 生物班、楠田哲士、古屋康則、近藤美麻、島田知彦、高木雅紀、田上正隆、角田裕志、原田守啓、福田英治、福永純一、藤谷武史、二村 凌、松村秀一、満尾世志人、向井貴彦、守亜 隆、横山哲也、吉村 卓也、米倉竜次

編集・発行 岐阜大学応用生物科学部 動物繁殖学研究室

A4版オールカラー 76ページ

無料 2000部 2014年7月11日発行

ISBN 978-4-9905397-3-3



PDF版 公開中（フリー） リンク・ツイート大歓迎！

ぎふの淡水生物をまもる

検索

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~lar/img/gifutan.pdf>



目次

1. 岐阜の淡水生物を育む自然
淡水生物を育む岐阜の自然と淡水魚文化／淡水魚の料理図鑑／清流・長良川のサツキマス／ヒメコウホネの生きる達目洞／岐阜大学の淡水生物，むかしといまー在来種と外来種／外来生物法って？
2. 岐阜の淡水魚など
図鑑 岐阜の淡水魚・エビ・カニ／淡水魚の繁殖生理／淡水二枚貝と魚類からみる生き物のつながり／カワナも地域の自然の一角／日本のドジョウがいなくなる！？／ため池の維持管理と魚類の多様性保全／外来魚による在来生態系への影響とその対策／岐阜の希少魚イタセンバラ，ウシモツゴ，ハリヨを守る／日本動物園水族館協会・日本産希少魚類繁殖検討委員会の活動
3. 岐阜のカエル
図鑑 岐阜のカエル／淡水生物のゆりかご田んぼ，ナゴヤダルマガエルの危機／動物園・水族館でのカエル飼育の意義と展望／トノサマガエルとナゴヤダルマガエルをDNAで見分ける／東海地方に生息する在来の両生類・爬虫類の県別リスト
4. 岐阜のサンショウウオ
図鑑 岐阜のサンショウウオ／岐阜のカスミサンショウウオのルーツを探る／守れ！ふるさとのカスミサンショウウオ／小型サンショウウオの飼育技術確立をめざして
5. 岐阜のカメ
図鑑 岐阜のカメ／クサガメとニホンズボンは外来生物か？／岐阜のカメの生息実態を調査／岐阜大学地区のカメ，外来種の増殖を生理学的に探る／岐阜のカメの遺伝的系統を調べる
6. 岐阜の水生哺乳類
希少水生哺乳類，減少の一途をたどるカワネズミ／増殖する外来水生哺乳類，ヌートリア／地味で謎だらけの日本産食虫哺乳類ーカワネズミから食虫哺乳類の展示へー
7. 岐阜の淡水生物をまもる活動
レッドリストとブルーリストって？ー生態系保全のための基礎資料ー／岐阜の自然環境を守る約束～岐阜市自然環境の保全に関する条例／岐阜県における生物多様性保全の推進について／岐阜市の自然を守る市と市民，専門機関のネットワーク／田んぼは水生生物の楽園ー水田生態系保全への取り組みー／魚類が自由に移動できる河川・農業排水路・水田のネットワークの再生／中小河川での「多自然川づくり」の取り組み／岐阜市のニホンイシガメとサンショウウオを守る生息域外保全の取り組み／地域の生きものを学ぶ，中学生が生物調査をスタート／岐阜の淡水生物を守るために水族館ができること／模型で伝える淡水生物の魅力～淡水生物園の看板ができるまで